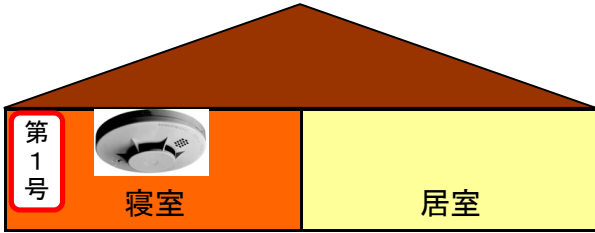


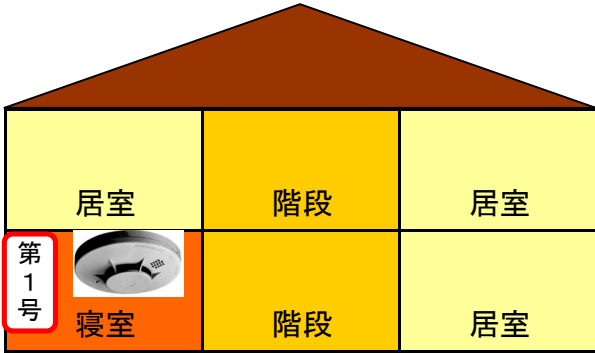
住宅用火災警報器設置例

藤沢市消防局

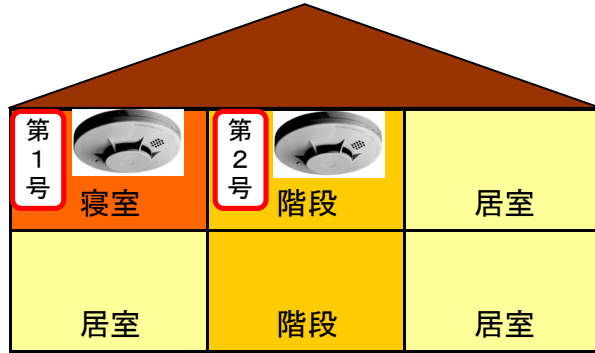
第1号から第4号の記載については、藤沢市火災予防条例第31条の3第1項各号の基準に基づき設置義務があることを示しています。



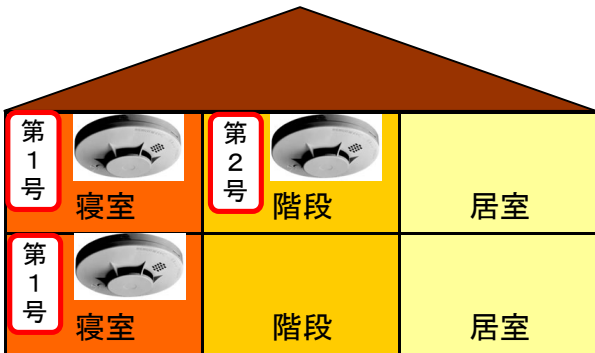
平屋建ての場合



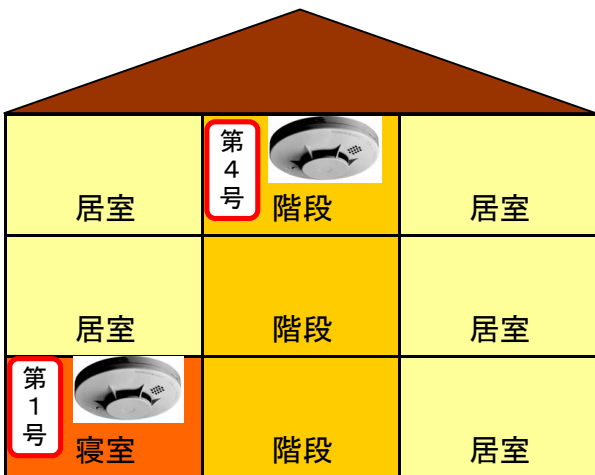
2階建て1階に寝室がある場合



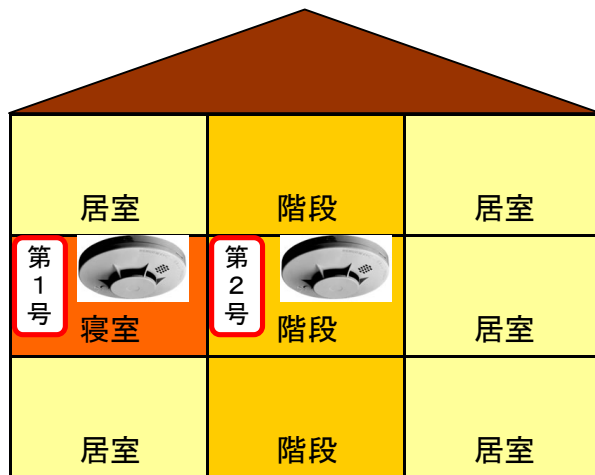
2階建て2階に寝室がある場合



2階建て各階に寝室がある場合



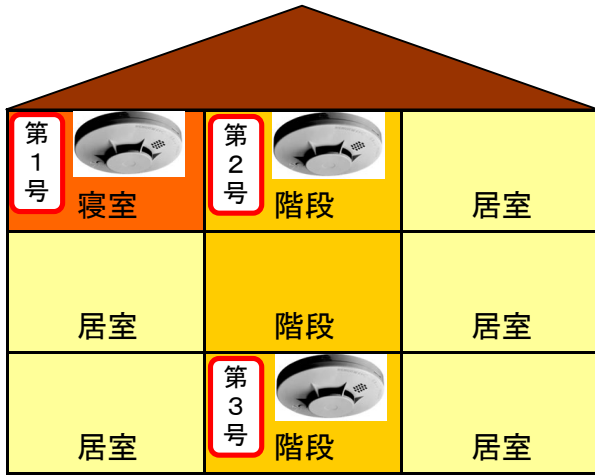
3階建て1階に寝室があり、3階に居室がある場合



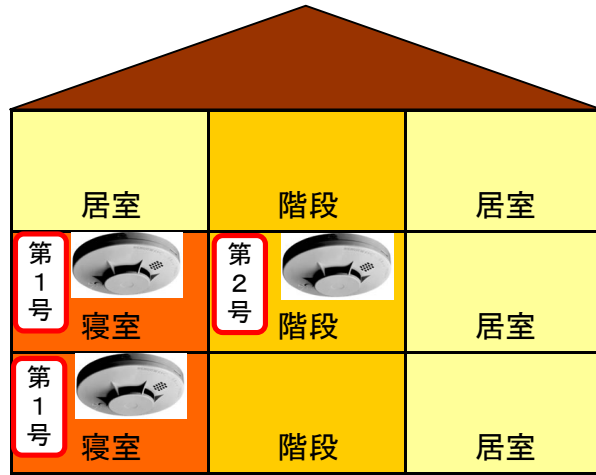
3階建て2階に寝室がある場合

住宅用火災警報器設置例

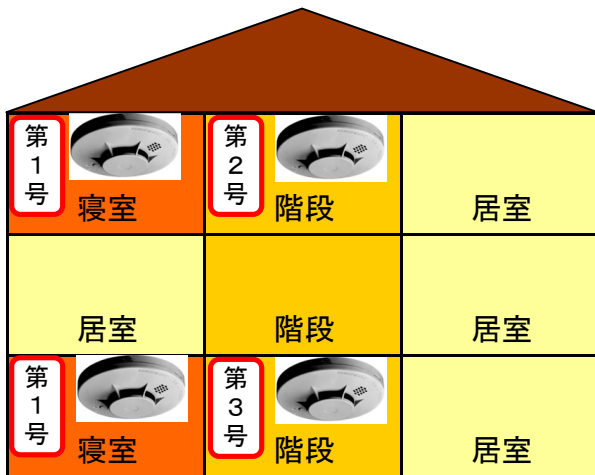
藤沢市消防局



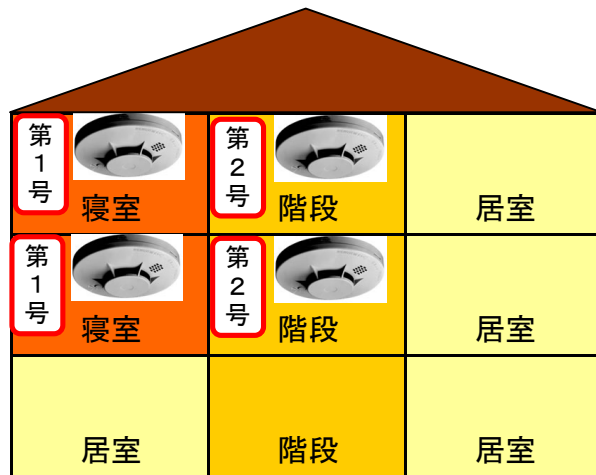
3階建て3階に寝室がある場合



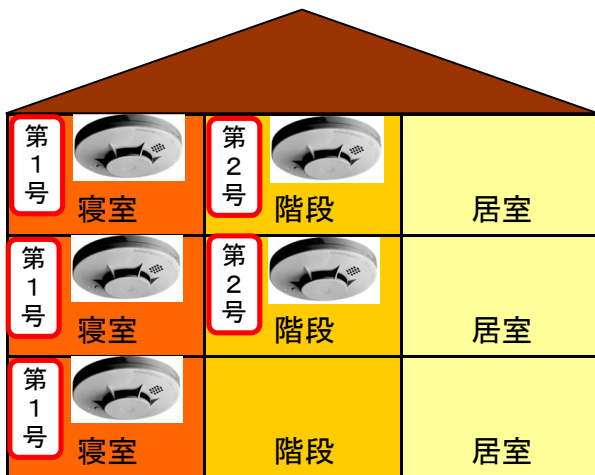
3階建て1階と2階に寝室がある場合



3階建て1階と3階に寝室がある場合



3階建て2階と3階に寝室がある場合



3階建て各階に寝室がある場合

藤沢市火災予防条例(抜粋)
 第31条の3 住宅用火災警報器は、次に掲げる住宅の部分(第2号から第5号までに掲げる住宅の部分にあつては、令別表第1(5)項口に掲げる防火対象物又は(16)項に掲げる防火対象物の住宅の用途に供される部分のうち、もつぱら居住の用に供されるべき住宅の部分以外の部分であつて、廊下、階段、エレベーター、エレベーターホール、機械室、管理事務所その他入居者の共同の福祉のために必要な共用部分を除く。)に設けること。
 (1) 就寝の用に供する居室(建築基準法第2条第4号に規定する居室をいう。第4号及び第5号において同じ。)
 (2) 前号に掲げる住宅の部分が存する階(避難階(建築基準法施行令第13条第1号に規定する避難階をいう。以下この条において同じ。)を除く。)から直下階に通ずる階段(屋外に設けられたものを除く。以下この条において同じ。)の上端
 (3) 前2号に掲げるもののほか、第1号に掲げる住宅の部分が存する階(避難階から上方に数えた階数が2以上である階に限る。)から下方に数えた階数が2である階に直上階から通ずる階段の下端(当該階段の上端に住宅用火災警報器が設置されている場合を除く。)
 (4) 第1号及び第2号に掲げるもののほか、第1号に掲げる住宅の部分が避難階のみ(避難階から上方に数えた階数が2以上である階に限る。)から直下階に通ずる階段の上端
 (5) 前各号の規定により住宅用火災警報器が設置される階以外の階のうち、床面積が7平方メートル以上である居室が5以上存する階(以下この号において「当該階」という。)の次に掲げるいずれかの住宅の部分
 ア 廊下
 イ 廊下が存しない場合にあつては、当該階から直下階に通ずる階段の上端
 ウ 廊下及び直下階が存しない場合にあつては、当該階の直上階から当該階に通ずる階段の下端